



経営学部主催

国際ボランティアプログラム

2014 年度春学期参加者募集要項

締め切り
5月22日
18:00!

アメリカ合衆国
(ヴァーモント州バーリントン市)
8月14日～8月27日 (14日間)



申込期間：5月8日～22日

国際ボランティア参加者募集！

ーボランティアを通じてアメリカの市民社会や CSR を学ぼう！ー

Vermont 州 Burlington 市ってどんなところ？

ヴァーモント州はアメリカ合衆国北東部に位置し、人口は約63万人とアメリカで2番目に人口が少ない州です。約75%が森林に覆われ、200以上の山を擁しており、自然の美しさが保たれています。「人間の数よりも牛の数の方が多い」と言われるほど酪農で知られ、車窓からは牧場がよく目に入ります。日本でも有名なアイスクリーム会社のベン&ジェリーズはここヴァーモント州が本拠地です。

そしてヴァーモント州最大の都市であるバーリントン市は、人口が42,000人で University of Vermont をはじめいくつかの大学が立地する学園都市です。サンフランシスコやニューヨークとは異なり小規模な都市ですが、限られた空間にすべてが揃っている為、非常に利便性が高く、住民との交流を楽しむことが期待できます。



プログラムの特徴

国際ボランティア活動を通じ、現地の社会問題や歴史的背景を地域住民の目線に立って学び、グローバル人材に必要な「異文化耐性力」や「組織運営に貢献できるバイタリティ」を養うことを目的としています。

1. 環境・教育・福祉等、様々な視点から社会問題に取り組んでいる地域住民との交流をはかれる。
2. 教育ディスカッションを通じ、日本とアメリカの教育制度について学ぶことができる。
3. バーリントン市長を訪問し、ボランティア活動報告や文化紹介の機会を得られる。

研修期間

- 事前研修（プレ・ワークキャンプ）：6月28日～29日（一泊二日） 研修場所：東京都青梅市
- 現地研修：8月14日～8月27日（14日間）※日本帰国は8月28日です
- 帰国報告会：9月22日（月）
- 成果発表会：10月17日（金）

応募方法・提出書類

- 募集定員：10名（プログラム参加者は書類選考により決定します）
- 参加条件：①事前研修，帰国報告会，成果発表会に参加できること
②学部指定の海外旅行保険に加入すること
③保証人の同意を得られること
④特別な事情がない限り、予定された期日に出国し帰国すること。
- 提出書類：①参加申込書（志望動機・自己PRの内容を基に書類選考を行います）
②誓約書，保証人同意書
- 提出先：経営学部事務室（和泉・駿河台）
- 提出締切：5月22日（木）18：00
- 結果発表：5月27日（火）経営学部掲示板および Oh-o!Meiji で通知します

★本プログラムは「グローバル人材育成トラック」申請要件とします★

研修費用

25万～30万円（概算）

プログラム参加費：45,000円（プログラム参加費とは NICE に支払う本プログラムの企画料等です）

自己負担：①往復の航空券代（航空会社により異なる） ②海外旅行保険（6～7千円） ③宿泊費 ④食費
⑤その他（現地研修費用，現地での送迎費，自宅から空港までの往復の交通費，個人的な買い物）

※滞在中の宿泊費，食費，送迎費，VFPの調整費は現地でお支払いいただきます。

★経営学部から一人当たり50,000円の助成金が支給されます★

キャンセル料について

プログラム参加費（45,000円）については以下の通りです。

＜本人の都合による場合＞事前研修前：10,000円を返金致します。

事前研修後：NICE に支払った参加費用は全額戻ってきません。

事前研修（プレ・ワークキャンプ）の内容

一泊二日のミニ・ワークキャンプを東京都青梅市で体験します。プログラム参加者全員対象！

環境・福祉・農業など、国際ワークキャンプ開催地で、実際のボランティア作業にチャレンジします。

また、夜は希望者でパーティーを開きます！本番に役立つゲームやスポーツを通し参加者間の交流を深めましょう。

現地研修の内容 ※下記内容は変更になる場合があります。

- ① Lake Champlain でハイキングトレイルの建築・修復作業
- ② コミュニティガーデンで花壇等の整備作業
- ③ 地域の象徴的な壁面のペイント作業
- ④ 学校訪問（小学校、図書館等で異文化理解のワークショップ）
- ⑤ ハイキングやカヌー体験（余暇活動）
- ⑥ Ben & Jerry's Ice Cream Factory で CSR プロジェクトについて見学
- ⑦ Shelburne Farm で環境学習について見学
- ⑧ Dismas House で元受刑者の社会復帰支援活動の見学・交流
- ⑨ 移民定住・自立支援活動について見学（零細事業の起業支援）
- ⑩ 大学訪問（大学生との文化交流・教育ディスカッション）
- ⑪ バーリントン市役所訪問、市長との会談（表敬訪問）
- ⑫ ECHO Lake Aquarium でインディアンの歴史・湖の自然についてのフィールドワーク



宿泊先

Bishop Booth Conference Center（シャンプレーン湖のほとりに位置しています）

部屋は男女別の相部屋です。食事は基本的に皆さんで協力し自炊をしていただきます。また、滞在期間中は現地の学生も宿泊する予定です。是非この機会に国際交流に取り組んでください。



緊急時（事故・病気・事件・交通機関の運行イレギュラー等発生時）の連絡について

研修中は、現地で長く活動を続けている VFP のスタッフが同行します。緊急時は、VFP のスタッフと NICE のスタッフがまず明治大学へ連絡し、その後保護者の方へ連絡、という方法を取っております。NICE は 1990 年に設立された NGO 団体ですが、これまでに現地に到着できなかった方は一人もいらっしゃいません！遅れてしまう場合等の連絡先は事前にお渡しします。柔軟にご対応いたしますのでご安心ください。

よくある質問

Q) 各機関（明治大学、NICE、VFP等）の役割について。

A) プログラム全体は明治大学経営学部主催ですが、事前研修・現地研修プログラムは明治大学経営学部のリクエストした内容を基に、NICEが企画し主催するものです。また、VFPとNICEは国連・ユネスコのネットワーク中のカウンターパートナーです。研修期間中は学生さんの主体性を重んじるために、基本的には学生グループとNICEより派遣されたキャンプリーダーによって活動を進めていきます。

Q) 現地での取りまとめは誰が行うのか。

A) ①プログラム進行：NICEスタッフ ②ワークコーディネーター：VFPスタッフ
③文化紹介等各企画：明治大学参加者の中の有志リーダー
作業指導については、各活動先のNPOスタッフが行います。注意点等の案内もありますので、指示に従って活動しましょう。

Q) 現地に日本語を話せる人はいるのか。

A) 日本語の話せるコーディネーターが1名同行しますが、プログラムの進行は英語です。学生の皆さんの主体性を重んじるため、コーディネーターは補助的な位置づけであるとお考えください。

Q) 食事はどのようにとるのか。団体・個別どちらでとるのか。

A) 現地で支払う滞在費の中に食費も含まれています。滞在中は係分担をし、生活班を作って行動します。持ち回り制で食事担当班を設けますので、その日の担当になった方々は、献立の相談や食材の調達（マーケットまで徒歩30分程度）、そして調理までをお願いします。自炊経験のない人でも、負担のかからないようグループで協力しながら食事を作ります。食事の際は、原則全員で一斉に食べます。

Q) 携帯は持参すべきか、現地調達にすべきか。

A) 研修中は団体で行動しますので集合場所・集合時間をきちんと守って頂ければ基本的に必要ありませんが、緊急時の連絡手段として念のため持参することをお勧めします。どうしても携帯以外の方法で現地から自宅に連絡を入れたいという場合は、現地NGOのオフィスでインターネットにつながったPCを借りることも可能です。（使用時間厳守）

<以下の質問については事前研修でご説明致します。事前研修は、参加決定者へご案内致します>

★ワークキャンプとは何か。★自由行動の有無。★常に参加者全員での団体行動なのか。

★現地では授業というものはなくボランティアのみなのか。

NICE (Never-ending International workCamps Exchange) とは？

本プログラムの実施団体です。1990年に設立、日本を中心に国内・海外ボランティアの各種ワークキャンプを主催するNGOで国連・CCIVSに加盟し（現副代表）、世界で1・2を争うネットワークを持っています。日本全国・世界各地の人々とともに、多様な生態系・文化・個性が生き生きと有効共存する地球社会を開拓しています。

VFP (Volunteers For Peace) とは？

本プログラムの現地での受け入れ団体で、1981年に設立されたアメリカを本拠地に活動しているNGOです。「一つの地球で、人々が国の違いを超えて、みんなの生活を改善するために一緒に行動する」国際ワークキャンプは、そんな将来の社会のモデルである！という理念のもとに活動しています。組織運営も外に頼らず、全て参加費や会費で賄っていますが運営の質が、多くのボランティアから高い評価を得ています。

問い合わせ先



明治大学 経営学部事務室（和泉・駿河台）

電話：（和泉）03-5300-1150

（駿河台）03-3296-4194

E-mail: keiei@mics.meiji.ac.jp